

1部のブロック順位決定

神戸市少年リーグ 後期の新チームを受けつけ

5月から始まった神戸市少年リーグは、学校の夏休みにあわせて7月17日の試合を終えたところで、ひとまず休みに入った。

1部リーグでは予想されたチームが上位を占めている。1組で神戸FCボーイズAが調子よく勝ち進んだのははじめ、東灘と蓮池がともにA、B2チームを送り、いずれも1位の座を守った。特に東灘Aはじゅう実しており、5試合の平均得点が10をうまわり、失点を

0におさえたのが注目される。また鶴越Aは組み合わせにもめぐまれたが、無敗で1位の成績をおさめた。土曜日に集中的に行っている練習や、交かん試合の成果が実ったのだろう。

今年ではじめて参加したチームも元気なプレーをみせ、なかでも大がらな選手がそろった室内は攻撃的なサッカーで見事2位にくいこみ、後期Aグループ入りを果たした。それに、初参加ではないが、宮本新監督の熱心な指導によってめきめき力をつけてきた多井畑も、リーグの争いをおもしろくしている。

後期は9月から始まる。前期の成績によって各組の1、2位をAグループ、3、4位をBグループ、5、6位をCグループに分けて12月の末まで行われるが、1部は神戸FC・A、東灘A、蓮池Aあたりを中心にはげしい争いがくりひろげられそうだ。

チーム受け付け

少年委員会では後期から新しくリーグ戦への参加を希望するチームを受け付けている。リーグの

日程の半分が消化されているため、どのようなリーグ形式をとるかは参加チーム数によって決められるが、多くのチームの参加をのぞんでいる。チームの代表者の方は8月25日までに、加藤寛・少年委員会総務部長へ連絡してください。☎(078)861-3100



1部3組

順位	チーム	東灘B	神陵台A	千歳A	名倉A	御影B	ひより	勝点
1	東灘B	●	3-1	3-0	3-1	6-0	7-0	10
2	神陵台A	1-3	●	2-0	3-2	4-0	5-0	8
3	千歳A	0-3	0-2	●	1-0	4-1	4-0	6
4	名倉A	1-3	2-3	0-1	●	1-0	4-0	4
5	御影B	0-6	0-4	1-4	0-1	●	1-0	2
6	ひより台	0-7	0-5	0-4	0-4	0-1	●	0

1部4組

順位	チーム	東灘A	室内	神戸FC	垂水SS	YMCA	千歳B	勝点
1	東灘A	●	2-0	7-0	8-0	20-0	15-0	10
2	室内	0-2	●	2-1	1-0	2-0	11-0	8
3	神戸FC	0-7	1-2	●	2-0	6-0	5-0	6
4	垂水SS	0-8	0-1	0-2	●	6-0	6-1	4
5	YMCA	0-20	0-2	0-6	0-6	●	0-0	1
6	千歳B	0-15	0-11	0-5	0-6	0-0	●	1

1部5組

順位	チーム	鶴越A	多井畑	北須磨	箕谷A	成徳B	板宿B	勝点
1	鶴越A	●	1-0	1-1	4-1	2-0	5-0	9
2	多井畑	0-1	●	2-1	1-1	1-0	8-0	7
3	北須磨	1-1	1-2	●	2-1	2-1	8-0	7
4	箕谷A	1-4	1-1	1-2	●	6-0	3-0	5
5	成徳B	0-2	0-1	1-2	0-6	●	2-0	2
6	板宿B	0-5	0-8	0-8	0-3	0-2	●	0

1部6組

順位	チーム	蓮池B	丸山B	神戸SS	鶴越B	高倉台C	勝点
1	蓮池B	●	3-4	4-1	6-0	1-0	6
2	丸山B	4-3	●	0-5	4-2	2-0	6
3	神戸SS	1-4	5-0	●	0-2	3-0	4
4	鶴越B	0-6	2-4	2-0	●	4-0	4
5	高倉台C	0-1	0-2	0-3	0-4	●	0



◆今月は少年関係の記事が多かった。少年のサッカーは盛んなのに中学、高校がピリッとしなのはなぜか。特に中学ではクラブの絶対数の不足、グラウンドの確保など問題が山積みされている感がある。中学のサッカーをいかに充実させるかが、神戸あるいは日本のサッカーを大きく発展させるか否かのカギを握っている。本紙でも近いうちに中学サッカーをとりあげる予定である。◆夏は暑いものに決まっているが最近の連想ゲームによると、8月一せみの声「涼しい」、ということになる。クーラーがいたる所に設置されているからだ。それが日本人の運動不足に輪をかけている。汗をかき風鈴の音で涼しむ公式どおりの生活も忘れたくない。(ウエノ)



1977 8月号

発行所 神戸市サッカー協会
神戸市北区有野台7丁目16-6
〒651-13 ☎(078)981-5867
発行人および編集人 加藤 正信
神戸市灘区上野通6丁目3-12
〒657 ☎(078)861-3100
毎月1回10日発行 購読料1部20円

西日本の少年600人が参加

君の美しい目を輝かせ

西日本少年サッカー大会の最大の行事として、広く注目されている第7回ジュニア・サマー・フェスティバルが8月27日から29日まで、32チームが参加して神戸中央球技場を中心に4会場で行われる。

毎年夏休みを利用して神戸で開催されるこのフェスティバルは、社会体育の一環として少年サッカーの育成に情熱を燃やしている地域から招待しており、今年で7回目を迎える。回を重ねるごとにいっそう盛大にかつ技術的にも意味のある大会となってきた。近年は各地の選抜チームの参加が多くなり、地元チームにとって胸を借りるに不足はない。

第7回ジュニア・サマー・フェスティバル

8月27、28、29日神戸で

この交歓会は、7年前に日本サッカー界で初めて法人組織になった神戸フットボールクラブが昨年より主催し、同クラブのボーイ(小学生)、ジュニア(中学生)の各チームおよび兵庫協会から推薦された少年チーム(西淡スポーツ少年団)が出場する。神戸FCは会員制のスポーツクラブではあるが、会員のみの活動にとどまらず「サッカーの普及と振興」を願って幅広い活動を展開しており、この交歓会もその最も大きな事業の一つである。

3日間にわたる期間中はグラウンドづくりから審判、記録、参加チームの接待にいたるまで同クラブのシニア、ユース、レディースの各メンバーが積極的に奉仕する。また、ゲームは小学4年生から中学3年生まで各年齢別になっており、そのユニークな大会運営は高く全国に認められている。西日本各地で社会体育としてチームを熱心に育てている指導者は、全国でも常にトップ



クラスにある静岡勢などとの対戦を楽しみにしている。過去6年間にこの交歓会から巣立った有望選手が中学、高校で大活躍している。全国レベルをねらう神戸・兵庫の中学、高校の指導者には必見のゲームも多い。参加チームの健闘を祈りたい。(カ)

西淡が全国大会へ

全日本少年大会 兵庫県予選

神戸FC決勝で涙のむ

少年日本一をきめる第1回全日本少年大会兵庫県予選は7月3、10日、尼崎で行われ西淡スポーツ少年団が神戸FCボーイズを破って晴れの兵庫代表に輝いた。

巧みなパスワークで攻め込む西淡と、苦しい戦いを勝ち抜いてきた神戸FCの対決は、決勝戦にふさわしい試合となったが、延長で5対5の同点の末、PK戦で西淡が神戸FCをくだした。西淡スポーツ少年団は49年4月に生まれた新しいチーム。サッカーを通じて心身をきたえるのがチームのモットーだが、選手はみなサッカーのとりこになってしまい、

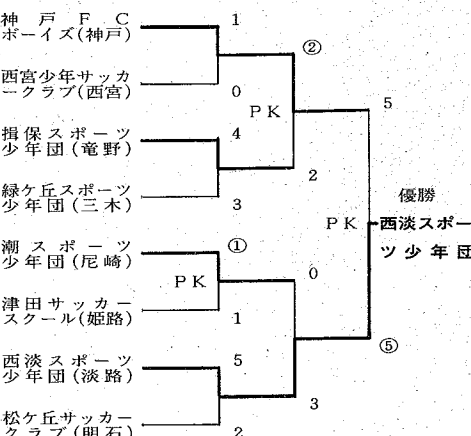
欠かさず続けた早朝練習と放課後の積極的なトレーニングが栄冠に結びついたといえよう。もちろん、山本監督の正しい指導と学校それに父兄の協力など、淡路のサッカーをもちあげようとする関係者の努力を見逃すことはできない。

この大会でみせた少年たちのプレーはすばらしかった。技術や戦術の理解は大人の選手と同じものをもっており、体力と体格を引きこせば、日本のトップ選手がやっていることと少しも変わらない。そういった優れた選手がいるチームはやはり勝ち残った。少年チームでは11人全員が高いレベルをもつことはむずかしい。チームの力をあげようと思えば、中心となる選手を育てることが大切である。彼らは試合中、まわりの選手に適切なアドバイスを与えてうまくリードしている。大人が直接指導するよりも、はるかに効果的な場合が少なくない。



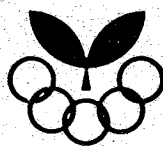
勝負のかかった試合になると、ボールを前へ前へと進める傾向が強くなるが「勝つ」目標への近道を大人が教えすぎていることはなかったか。勝った自信から成長させるのもひとつの指導法だが、少年時代ではむしろ「道ぐさ」させるぐらいの余裕をもってほしい。この大会がますます盛んになっていくだろうが、目先の勝負にこだわって、少年サッカーの正しい発展に向けられている広い視野がさええられることのないようにしてもらいたい。

全日本少年大会 少年の健全な心身の育成とサッカーの普及、振興を目標とし、従来のスポーツ少年団大会を発展的に解消、名実ともに「少年日本一」を争うもの。参加資格は日本協会第4種(小学生年齢=13歳未満)に登録された単独チームで、都道府県の代表32チームが出場する。



ようこそ神戸へ

西ドイツからスポーツ仲間がやってくる



日本スポーツ少年団本部は昭和49年から毎年夏に、ドイツスポーツ少年団本部とリーダーの同時交流を行っている。リーダーの年齢は15-20歳で、人員は指導者を含め約160人。近畿にはニーダーザクセンとヨットのシュボルツ・ユエグント20人余りがやってくる。反対に兵庫県からは、スポーツ少年団の全国大会とリーダースクールに参加した有資格者が数人ずつドイツへ派遣される。ドイツ側がチャーター機で来日し、翌日、日本側がその航空機でドイツに向けて飛ぶ。そしてそれぞれ数班に分かれ、7月下旬から8月中旬までの約1カ月にわたって、国内各地を巡回しながらスポーツによる交歓を行うのである。

今年はニーダーザクセンとヨットの団員21

人(男12女5、指導者男3女1人)の一行が神戸を訪れる。2年前の交歓会では、来神した団員とサッカーを楽しむ大変喜ばれた。ドイツの団員は必ずしもサッカーの選手ばかりではないが、男も女もサッカーは大好きだ。今年も8月10日、兵庫県庁を表敬訪問した後の一行を神戸中央球技場に迎え、夕方ボールをけり夕食会を催して温かく歓迎する予定になっている。ホスト役は社団法人神戸フットボールがつとめ、スポーツ少年団に登録している若人男女がなごやかに交歓する。(カ)写真とは2年前の交歓会より(神戸中央球技場)



晴れの兵庫代表きまる

天皇杯全日本選手権兵庫大会 県リーグチームは敗退

52年度天皇杯全日本選手権兵庫大会は69チームが参加して行われ6月26日、明倫クラブ、葦合クラブ、神戸大学、甲南大学の4チームが兵庫代表に決まった。

兵庫協会だより

◆但馬に待望のサッカー協会誕生 このたび但馬地区豊岡市に豊岡市サッカー協会が発足した。理事長は田中氏（豊岡高教諭）で、協会に登録しているのは社会人の2チームだけだが、少年サッカーを育てることを事業の柱としたいとの基本方針から、発足の記念事業として少年サッカー指導者講習会が行われた。6月26日、会場の豊岡高には23人の受講者が参加し、兵庫協会より五島祐治郎・技術委員と西林恵三・少年委員長それに柴田寛氏（神戸市立桜宮小教諭）の3氏が指導にあたった。受講者は、但馬のサッカーの振興には少年サッカーの育成が大切と真剣な態度で取り組み、大きな成果をあげた。これからの但馬のサッカーを温かく見守っていきたい。（イ）

◆国体関西予選 国民体育大会サッカー競技の関西地区予選の成人の部（一般、教員）の試合が8月7、14の両日大阪府府立競技場で行われる。一般の部は三菱重工神戸と新日鉄広畑を主体とする兵庫県選抜チーム。組み合わせによると決定戦の相手は大阪と思われるが、大阪も関西リーグの電々近畿と大日日本電線の選手が中心になっており予断を許さない。また、教員の部も順調にいけば、代表決定戦で京都と顔を合わせそうだが苦戦は免れない。ここ数年、一般も教員もあと一步のところまで出場権を失っているだけに、今年あたりはぜひ代表を獲得してもらいたい。（イ）

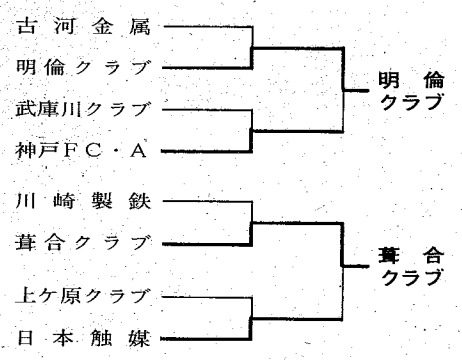
電々近畿が首位

関西社会人リーグ前半終了

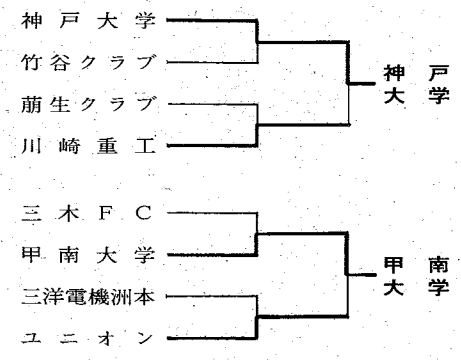
関西社会人リーグは5月22日前期を終了し、そのあと後期の試合を5節消化する変則日程で、6月12日前半を折り返した。

電々近畿は昨年の不振に奮起して開幕戦からとばして首位。大日電線は大石、奥田、清田のベテランがレギュラーからはずれ、若返りをはかった。スタートにつまずいたが徐々に立ち上がり、電々近畿にピッタリついている。兵庫勢は3位から5位まで占めており、この中で三菱神戸は50年度に優勝した当時のメンバーから補強ができないため、苦しい試合が続いているが11試合で失点を6に抑えた若手バックスの活躍がめだつ。兵庫教員は下位チームから確実に勝ち点をあげて4位。昨

代表となったチームの中でシードされていたのは神戸大学だけ。明倫、葦合、甲南は1回戦から着実に勝ち進んできた。明倫は尼崎の3部リーグに所属しているが、強豪チー



ムのひとつでここ一番の試合になると底力を発揮する。古河金属、神戸FCといった県リーグの上位チームを破って代表の座を獲得したのはりっぱ。葦合高のOBが中心になっている葦合は、今年加入した新人の活躍がチームの勝利に大きく貢献した。神戸大と甲南大は豊富な練習量で社会人チームを圧倒し、学生チームの面目を保った。神戸大は2年連続。兵庫県社会人リーグの7チームはすべてシードされていたが、代表に1チームも顔をつらねていないのはさびしい。なお、代表の4チームは11月の関西大会へ出場する。

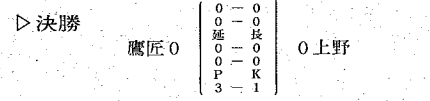


神戸市代表に鷹匠

PK戦で上野を下す

神戸市中学校総合体育大会

第17回神戸市中学総合体育大会サッカー競技は7月24日、御崎サブグラウンドで準決勝2試合に続いて、決勝戦が行われた。

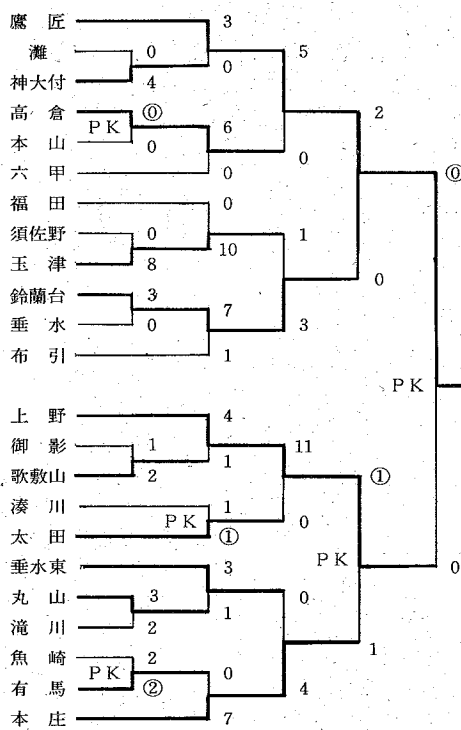


予想通り優勝候補同士の対決。鷹匠は好調な足で試合の主導権を握った。全員が個人

年の得点王関根は体調はベストでないが、相変わらず点取り屋の責任は果たしている。ただ、バックスのつまらぬ失点から試合を落としたのが惜まれる。本下新監督のもとメンバーが一軒した新日鉄は、シーズン当初調子が出ず苦戦したが、少しずつもり返し後期に勝負をかける。（イ）

技にすぐれており、先の全国中学生大会で兵庫代表となった自信から上野のゴールを襲うが、最後のつめが甘く得点に結びつけない。上野も時おり速攻をみせるが、鷹匠のかたい守りにはばまれ両チーム無得点のまま延長に入った。焼けつくような炎天下のもと選手は中学生らしい元気なプレーを展開したが、ゴールを決めることはできず0-0の同点。PK戦で勝負が決まった。

この大会はどのチームも昨年より技術的な向上がみられ、特に優勝した鷹匠は一人ひとりのレベルが高く、激しいチームに対しても味方のリズムをくずさず、楽しいサッカーをしていたのが興味をひいた。ただ、ゴール前のラストパスにひと工夫があれば、もっと多くの得点をあげることができよう。



楽しい少年サッカー

少年たちのサッカーを見ていると実に楽しい。私は、見ている人が楽しいと感ずるようなゲームであってほしいと願っている。それをはかなえてくれたのが、全日本少年大会兵庫県予選の準決勝、決勝の試合だった。準決勝に出場した竜野の担保スポーツ少年団は実によく訓練されたチームで、惜しくもPK戦で神戸FCに敗れ去ったが甲乙つけがたいチームである。決勝の西淡スポーツ少年団と神戸FCの試合は、5対5のまま勝負がつかずPK戦で西淡が優勝したが、延長戦を含めて1時間あまりにわたって熱戦が展開された。個人技量とチームプレーがスピードとうまくかみ合っ、お互いのゴールで“爆発”している試合は、最近の大人の試合でも見たことがない。6月に来日した1FCケルンの監督から

「日本チームにはゴール前で何がなんでも得点してやろうという迫力がない」と言われた由の話を新聞でみたが、大人の選手諸君に少年大会の決勝戦をぜひ見てもらいたかった。少年たちのプレーは多様にわたっている。一応、基礎的なプレーは何でもできるし、それが対敵条件の中でも可能であることが特にすばらしい。選手は自分のところへボールがくれば、シュートするのかわドリブルか回りの状況を考えた“予測”のもとで動く。また、センタリングにあわすためにゴール前へ突っ込むが、もし予測が外れば、すぐ次の段階へと動作を移している。そういった予測すな



本紙は次のところにもあります

関正スポーツ

生田区下山手通6丁目65
兵庫県庁300m 西側

☎078(371)0857

灘スポーツ

灘区倉石通5丁目1-8
市バス水道筋6丁目上がる100m 東側

☎078(861)4671

ヤマダスポーツ

葦合区熊内通6丁目3
雲中小学校前

☎078(241)9317

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5
バンドウ化学南

☎078(576)0870

MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店
プレザーション
トアロード店
神戸・新聞地店

☎078(391)0895
☎078(391)0896
☎078(575)7688

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として50円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。
〒657 神戸市灘区上野通6丁目3-12
加藤 正信 ☎ 078(861)3100

随想

西邑昌一

わち判断が的確なのに驚かされるが、予測が外ればむだな動きに終わってしまうのを承知のうえで、がんばっていることにも深い感動をおぼえる。

私はチームの指導者・黒田君（神戸FC）と山本、河辺両君（西淡）をよく知っているが、ここまでチームを指導してこられた努力と労苦に対して敬意を表するものである。両チームともに指導者の個性が表われているのが興味深く感ぜられ、この少年たちがい

ずれ進学して、離れて行くのではないかと考えると残念で

指導者の個性

二つの大会をみて……

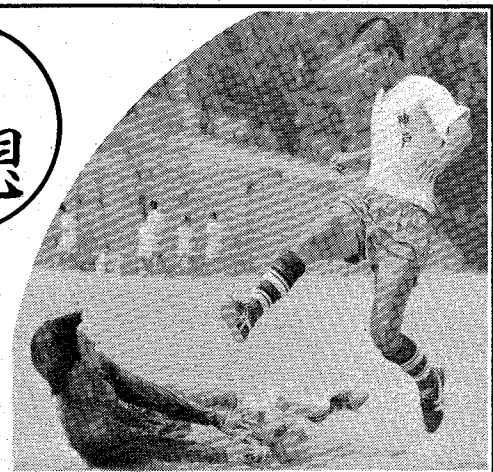
仕方がない。なぜならば静岡や関東の少年チームのことを考えれば、チームづくりは雄途半ばだろうと察するからである。

きびしさほしい高校の試合

117 チームが参加した全国高校総合体育大会兵庫県予選で神戸高が代表になった。この中で神戸、明石南、県芦屋、市西宮、須磨、



将来が楽しみな少年選手をどう育てていくか、指導者に課せられた使命は大きい。全日本少年大会



厚田ら優れた選手は多いが、高校で特徴のあるチームは数えるほど少ない。(高校総体 神戸・須磨戦より) が多い。他のチームにもすぐれた選手が一人や二人はいるが、試合運びは神戸高と大きく変わったところはなく、前述の少年サッカーのように見ている人を楽しませるようなものがあまりみ

れなかった。少年サッカーでは指導者の個性が、チームや選手に大きな影響を与えることが多い。が、高校チームにおいても、指導者の個性がでてくるのは決して悪いことではない。たとえ指導者の強い個性があらわれて、よくない結果が出たとしても、それは自然に淘汰（とうた）されるからである。

魅力あるチームの試合をのぞむ

「統一した理論と指導」はクラマーさんが来日してからよく言われたことばであるが、すでに十五年余りが経過しようとしている。指導方針が必ずしも定まっていなかった当時の日本サッカーには、それなりに大きな意味があったが、世界のサッカーは進んでおり日本サッカーも変化しているのだから、その点を踏まえて指導するのが適切な指導者としての資格を有することになるのではなかろうか。旧態依然として、画一的な理論と統一した指導法でつくられた規格品チーム同士の試合を見るほど味気ないものはない。

サッカー普及のための底辺拡充が叫ばれて20年、少年サッカーは充実して盛り上がっている。すばらしいプレーを見せつけた少年たちは無限の可能性をもっており、この少年たちが地元にとどまってくれば神戸・兵庫のサッカーは次第に強くなって行くだろう。

ジュニア・サマー・フェスティバル組み合わせ

8月27日(土)

神戸中央球場	御崎サブグラウンド	御崎少年グラウンド	兵庫工高グラウンド
	ⅣA 神戸FC-熊本 (9:30) ⅣC 藤枝-兵庫代表 (10:25) ⅣB 浜松-若松 (11:20)	ⅣD 清水-四日市 (13:40) ⅣE 神戸FC-城内 (14:35) ⅣF 枚方-清水 (15:50) ⅣG 清水-津山 (17:05)	Ⅵ 神戸FC-藤枝 (13:40) Ⅵ 清水-交野 (14:40) Ⅵ 神戸FC-四日市 (15:40) Ⅵ 枚方-清水 (16:40)

8月28日(日)

神戸中央球場	御崎サブグラウンド	御崎少年グラウンド	兵庫高工グラウンド
ⅣA 熊本-金沢 (9:00) ⅣB 若松-香川 (9:55) ⅣC 広島-兵庫代表 (10:50) ⅣD 四日市-津山 (11:45) ⅣE 西日本選抜-藤枝 (14:30) ⅣF 神戸FC-清水 (15:15) ⅣG 2位同土準決勝A-B (16:30) ⅣH 2位同土準決勝C-D (17:25)	Ⅰ 清水-城内 (9:00) Ⅰ 神戸FC-枚方 (10:10) Ⅲ 神戸FC-熊本 (11:20) Ⅲ 清水-大河 (12:20) Ⅳ 3位同土準決勝A-B (14:30) Ⅳ 3位同土準決勝C-D (15:25) Ⅳ 1位同土準決勝A-B (16:20) Ⅳ 1位同土準決勝C-D (17:15)	Ⅵ 清水-藤枝 (9:00) Ⅵ 神戸FC-交野 (9:55) Ⅴ 神戸FC-清水 (10:50) Ⅴ 枚方-四日市 (11:45)	Ⅳ 清水-藤枝 (14:30) Ⅳ 神戸FC-西日本選抜 (15:45)

8月29日(月)

神戸中央球場	御崎サブグラウンド	御崎少年グラウンド	兵庫高工グラウンド
Ⅰ 枚方-城内 (9:00) Ⅰ 神戸FC-清水 (10:10) Ⅳ 3、4位決定戦 (11:20) Ⅳ 決勝戦 (12:15)	Ⅱ 神戸FC-藤枝 (9:00) Ⅱ 西日本選抜-清水 (10:10) Ⅴ 5、6位決定戦 (11:20) Ⅴ 7、8位決定戦 (12:10)	Ⅴ 清水-四日市 (9:00) Ⅴ 神戸FC-枚方 (9:55) Ⅵ 神戸FC-清水 (10:50) Ⅵ 藤枝-交野 (11:45)	Ⅳ 11、12位決定戦 (8:40) Ⅳ 9、10位決定戦 (9:30) Ⅲ 清水-熊本 (10:20) Ⅲ 神戸FC-大河 (11:20)